



▲防災対応型太陽光発電システムの概要
◀指定避難所に設置された太陽光発電パネル

指定避難所への導入が進む 防災対応型太陽光発電システム

問い合わせ
防災環境都市推進室
☎214-8057
FAX214-8497

避難所運営には欠かせない 非常用電力



山田中学校
渡邊哲也校長

東日本大震災の発生当時、私は柳生中学校に勤めていました。以前から宮城県沖地震を想定しての訓練は行ってきましたが、3月11日の地震では長期間にわたり電気が使えず、避難所や学校の運営に大きな支障が

出ました。避難所の運営を通して感じたのは、まずは明かりの確保が必要だということです。そして、主要な通信手段である携帯電話の充電ができることも重要だと思いました。

防災対応型太陽光発電システムの導入により、これらに必要な電力を確保できるようになりました。防災訓練の際は、停電時に使える照明やコンセントの場所などを確認し、いざというときに備えています。

東日本大震災では、電気・ガス・ガソリン等の供給が途絶え、避難所運営などの初期対応においてさまざまな不都合が生じました。市ではこうした経験を踏まえ、災害時における自立的な電源を確保するとともに、平時の二酸化炭素の削減を図るため、小・中学校など全ての指定避難所に防災対応型太陽光発電システムの導入を進めています。既に194カ所に整備し、今年

度中に整備を完了する予定です。このシステムは、太陽光発電と蓄電池を組み合わせており、昼は太陽光発電による電力供給や蓄電池の充電、夜は蓄電池からの電力供給が可能。これにより、停電発生時も指定避難所で防災無線やテレビなどの情報通信機器や照明が使えるほか、平時は発電した電力を自家消費することで、電気料金の削減にもつながっています。

ごみ減量・分別の豆知識

プラスチック製容器包装の 出し方あれこれ

WAKE UP!!
ワケアップ! 仙台

プラスチックをごみとして排出する際、正しく分別していますか。収集対象となるのはプラスチック製の「容器」と「包装」です。バケツなどの商品そのものは対象にはなりません。迷ったときは「プラマーク」が目印です。

捨てる前は軽くすすいで。汚れ落としには、食器洗いで出た泡やすすぎ水、古布を使うのがオススメです。汚れがひどい場合は、袋の中の他のごみまで汚れるので家庭ごみで捨ててくださいね。



問家庭ごみ減量課☎214-8229、FAX214-8277

知って役立つ! ワンポイント防災講座

わが家に必要な備蓄品の確認を!

1週間分の水・食料の備蓄に併せて、家庭ごとに必要な備蓄品を確認しましょう。卓上コンロとボンベがあれば簡単な料理ができます。乳幼児のいる家庭では、ミルクやレトルトの離乳食、紙おむつやおしりふきも多めの買い置きが安心です。高齢者の家庭は、常備薬や服用中の薬がきれいなような準備を。ガソリン不足に備えて、自動車などは、こまめに給油しておきましょう。



問減災推進課☎214-3109、FAX214-8096